



校長だより

17号



呉市立両城小学校

児童数125名

〈学校教育目標〉 心豊かに 自立する

令和5年 11月30日(木)

文責 堀田 由美

地震・津波避難訓練



休憩時間 訓練放送を聞いて



自分たちだけで 運動場へ避難



頭を守って避難している子も



1回目の人数確認



津波警報発令の想定で講堂へ避難

11月7日には、地震・津波を想定しての避難訓練を行いました。11月2日に緊急地震速報を受けて「安全行動1・2・3」の訓練をしていましたので、今回は昨年と同様に休憩時間に訓練放送を流しました。子供たちは、放送を聞いて自分たちだけで「安全行動1・2・3」を行動に移すことができました。地震はいつ起こるか予想が付きません。学校がない日に、1人のときに突然起こる可能性もあります。「自分の命は自分で守る」ことのできるよう、ご家庭でも地震のときはどうするか、津波が起きる可能性があるときはどこに避難するか、お子さんと確認してください。

子供の振り返りより

- 安全行動1・2・3をしっかりと守って頭を守れたのでよかったです。運動場からこう堂に行くときに、シューズがゆげて取りにもどってしまったので、もし、ゆげて、次はもどらないようにしたいです。本当に起きたときは、もっと落ち着いて行動したいです。
- ひなんするとき、赤白ぼうを落としてしまったけれど、もどらず、フードをかけてひなんした。
- 放送が聞こえて、すぐに近くにいた1年生とゆれがおさまる前に、にげてしまった。ゆれがおさまる前にあわててにげるのではなく、ゆれがおさまるまでまち、そこから運動場になげる。ゆれている中、細い道を全力ダッシュは、とても危ない。



講堂で避難訓練の講評

代表委員会

11月8日には、第1回の代表委員会がありました。
6年生からの提案で、児童集会で行う遊びを何にするか決めるための話し合いでした。

集会の名前は、「いじめ〇 いいところ認め みんななかよし集会」で、いじめ〇に向けて男女関係なく関わり、仲を深め集会以外でも遊べるように、お互いのいいところを見つけて認め合うという目的で行われます。



練習の成果を出し切って感動と笑顔を届けよう



学習発表会にはたくさんのご参観、メッセージカードをありがとうございました。メッセージカードは、子供たちの大きな達成感につながりました。子供たちや先生たちの頑張りをほめていただき、感謝の気持ちでいっぱいです。本校を卒業した中学生も最後まで残ってくれて、椅子の片付けを手伝ってくれました。

その3日前の15日には、児童鑑賞会を行いました。他の学年の発表のとき自然と手拍子が起こったり、演技に反応したりしている子供たちの目は輝いており、感動してしまいました。観客との一体感を感じました。子供たちも見ている観客がいることで緊張しながらもモチベーションが上がったことでしょう。

児童鑑賞会では6年生が放送をしたり暗幕の開け閉めをしたり、児童の管理をしてくれたりして児童鑑賞会を支えてくれました。

子供の振り返りより

○児童鑑賞会

- ・ 1年生が、はじめての発表会なのに、息ぴったりで声も大きかったので、まねしたいです。
- ・ 2年生は電気を消してびっくりしたけど、星がきれいでした。
- ・ 3年生のダンスがキレキレでした。
- ・ 4年生のソーランがかっこよかったです。
- ・ 5年生がとても長い名前をはやく言っていてすごかったです。とてもおもしろかったです。
- ・ 6年生にうっとりしました。合唱の一体感がすごかったです。

他の学年の発表を見て、ほくもがんばろうって思いました。

○保護者鑑賞会

- ・ 今日ほくもかん賞会がありました。思った以上に人がいたけれど、最後まで笑顔で大きな声で、できました。みんな最初は声が出ていなくて動きがあまりなかったけれど、たくさんの先生に教えてもらったふりつけやみんなの練習の成果を発音できました。最高の結果でした。
- ・ テーマの「練習の成果を出し切って、感動と笑顔を届けよう」を達成できたと言えるものになりました。家に帰り、姉と母に感想を聞くと、「ダンスがキレキレだった。」「合唱もよく頑張っていた。」と褒められました。小学校最後の発表会、全力で楽しんでやることができました。